

## 沖縄の未来を左右し、日本の民主主義が問われる歴史的なたたかいである沖縄県知事選挙勝利のため全国からの支援を呼びかけます

2018年9月10日  
日本高齢期運動連絡会

沖縄県知事選が9月13日告示、30日投票でたたかわれます。翁長雄志知事の遺志を継ぎ、新基地阻止へ豊かで誇りある「新時代沖縄」実現めざし、オール沖縄の代表として玉城デニーさんが立候補することになりました。この県知事選は、沖縄の未来を左右するとともに、日本の民主主義が問われる歴史的なたたかいです。

県知事選は、沖縄県民の明確な民意を踏みにじって新基地建設を推進する安倍政権、自民・公明・維新勢力と、これ以上の基地負担を拒否し、誇りある平和で豊かな沖縄を求めるオール沖縄との激突です。今回の県知事選に勝利すれば、埋め立て承認の撤回を表明した翁長知事の遺志を引き継ぎ、辺野古新基地建設計画を中止させ、平和で豊かな「新時代沖縄」への道を開くことができます。

それはまた、臨時国会にも改憲案の提出をうかがう安倍政権にも大きな影響を与え、安倍9条改憲を阻止するうえでも大きな意義をもちます。

安倍政権は日米安保条約を憲法より大事にし、辺野古への米軍基地建設を最優先課題として掲げ、あらゆる手段を使って沖縄に新基地建設を押し付けようとしています。また、基地と振興を絡ませて県民の中に対立と分断を持ち込んでいます。相手候補はその対立と分断を持ち込んでいる候補者です。このような安倍政権いいなりの候補者に負けるわけにはいきません。大激戦に勝ち抜くためには、オール沖縄の奮戦とともに、全国からのこころを込めた連帯と支援が強く求められています。

日本高齢期運動連絡会は、昨年沖縄で第31回日本高齢者大会を開催予定でした。その大会には、「沖縄の闘いと連帯する」とのスローガンの下、全国から3000人近くの方が参加する予定でした。残念ながら大会は台風のため中止となりましたが、大会参加者の多くの方が、「沖縄県民のたたかいは、私たちのたたかい」として、一貫して連帯活動に取り組んできました。全国各地で、沖縄連帯のつどいを開催し、カンパ支援を大きくすすめるとともに、現地への代表派遣に取り組みましょう。あらゆるつながりを生かして「支持のよびかけ」をひろげ、玉城デニー知事誕生へ全力をあげましょう。